

## 霞ヶ浦の概況について

## 1 特徴

- ・ 霞ヶ浦は、茨城県、栃木県及び千葉県の一部を流域とする日本で2番目に大きな湖。
- ・ 水深が浅く、湖水の滞留時間も長いことから、湖水が汚濁しやすい性質を持つ。
- ・ 霞ヶ浦流域は、茨城県の面積の約35%を占めている。
- ・ 飲料水をはじめ、農業用水、工業用水にも利用されており、水瓶としての性質を持つ。
- ・ 畜産業、漁業も盛んであり、サイクリングコースも整備されている（りんりんロード）ことから観光面でも利用されている。

## 2 位置



## 3 諸元等

流域面積	2, 1 5 7 km <sup>2</sup>
湖面積	約 2 2 0 km <sup>2</sup> (西浦 1 6 8 . 2 2 km <sup>2</sup> 、北浦 3 5 . 0 4 km <sup>2</sup> 、常陸利根川 1 5 . 3 3 km <sup>2</sup> )
水深	(平均) 4 m (最大) 7 m
貯留量	約 8 . 5 億 m <sup>3</sup>
平均滞留日数	約 2 0 0 日
流域人口	9 3 7 . 3 千人 (令和 2 年度末)
利水	上水、工業用水、農業用水